

目次

1 はじめに	1
(1) 行動計画策定の目的	
(2) 行動計画の位置づけ	
(3) 行動計画の対象地域	
2 新因幡ライン沿線の景観形成の方針	2
(1) 新因幡ライン沿線の景観特性	2
(2) 近年の取組み	4
(3) 課題	5
(4) 今後の取組みの考え方	5
1) 景観形成の方針	5
2) 景観配慮が必要な要素の抽出	6
3) 景観資源、ビューポイント・滞留拠点の選定	9
4) 重点的に景観形成に取り組む区間	12
3 行動計画	13
(1) 景観配慮が必要な要素の整理	13
1) 景観規制の現状と課題	13
2) 景観診断で抽出された景観配慮が必要な要素の整備方針	14
ア) 公共広告物	14
イ) 民間広告物及び民間建築物・工作物	15
ウ) 道路附属物等	17
エ) 沿道の除草、植栽の管理等	19
オ) バス待合所	20
カ) 電線・電柱等	21
キ) 花御所柿畑の防風ネット	22
ク) 遊休・荒廃農地等	22
3) 民間活動への支援	23
(2) 景観資源の保全・活用	24
(3) ビューポイント・滞留拠点の整備	28
(4) 推進体制等	33
(5) 行動スケジュール	33
(6) 令和3・4年度の取組方針	34
参考資料1 新因幡ライン景観形成行動計画策定委員会による検討経過	37
参考資料2 景観診断ワークショップにおける地点ごとの評価	39
参考資料3 ワークショップ「景観資源等の活用を考える」における意見・アイデア等	43
参考資料4 ワークショップ「景観資源等の活用を考える」で使用した箇所別シート	49

